

日野原重明記念「新老人の会」石川



会 報 (61号)

発行日 2024年10月1日(火)

2024年度第2回会員の集い&昼食懇話会の開催

高 木 正 二

2024年度第2回会員の集い&昼食懇話会が8月24日(土)、金沢ニューグランドホテル4階「相生」で会員20人の出席により開催されました。ハーモニカアンサンブル・ルビアスマイルが、コードハーモニカやバスハーモニカを交えて従来のハーモニカとは一味違うオーケストラのような重奏な音色を奏でました

冒頭、山内ミハル世話人代表が本日の演奏会を楽しみにしていること、また次回第3回会員の集いは講師に日野原真紀さんをお願いしていることを紹介し、多数の参加をお願いしたいと挨拶しました。全員で日野原重明先生が作詞作曲した「新老人の歌」を歌った後、演奏会は始まりました。

まず列車メドレーとして列車にまつわる5曲が披露され、その後、代表で指導者の公下明音さんから各パートメンバーと使用している楽器の紹介がありました。続いて「長崎の鐘」など私達になじみ深い曲4曲が演奏された後、公下明音さんがソロで「山寺の和尚さん」を演奏しました。公下さんはハーモニカのテクニックを駆使し、軽快なリズム、メリハリのある音そして流れるような音の上げ下げで会場を引き込み、演奏が終わると会場から大きな拍手が沸き起こりました。



演奏するルビアスマイルのメンバー

次の曲「星のフラメンコ」では、参加者が演奏に合わせて手拍子を打ちました。タイミング良く手拍子を打つために演奏中ずっと手を前に出して準備をしている参加者もあり、みんなが出演者の気分で楽しんでいました。最後に「昴」が演奏されると「アンコール」の声が上がり、「ドナウ川のさざなみ」が演奏され演奏会は終了しました。

ハーモニカの演奏に合わせて足で拍子を取り、歌を口ずさむ参加者も多く、また、「ハーモニカにこんな種類がありオーケストラのような演奏ができることを初めて知った」という声も聞かれ、みんなが演奏を楽しんだのではないかと思います。

昼食後、全員で「ふるさと」を歌い、会員の集いは終了しました。



コロナ禍も落ち着き、通常に戻りつつあった今年元旦の夕刻4時10分、今までに経験したことのない大きな地震に見舞われました。久しぶりに故郷でお正月を…という人たちを含め、能登半島で震度7、金沢では5強という大きな揺れと何度も続く余震におびえながらの年明けとなりました。能登地区には新老人の会のメンバーは居られず、金沢でも大きな被害に遭われたメンバーの方がおられなかったのは幸いでした。

5月ゴールデンウィークの2日間、私は神戸、東京、仙台石巻の仲間たち20人ほどで、復興とはまだまだ程遠い能登輪島市町野町の中学校とその近辺で避難生活をしておられる方々の支援活動として、お餅つきに行ってきました。被災から4ヶ月以上もたっているのに、金沢から輪島までの唯一の自動車専用道路である能登里山海道は、金沢から輪島までの片側道路しか開通しておらず、帰りの輪島から金沢への道路は不通でした。しかも行きは開通しているとはいっても、途中がけ崩れや、道路欠損箇所があったりで渋滞もあり、朝6時半に家を出て目的地の町野町の会場である中学校に着いたのは11時過ぎでした。途中、輪島に近づくにつれブルーシートがかかった屋根が目立つようになり、市内に入ると道の両側の家々は軒並み傾いたり、二階建ての一階がつぶれてまるで一階建てになっている家、中には倒れた大きなビルの下敷きになって、車ごとつぶされている家、丸焼けになった朝市…と、テレビや新聞の報道で知った以上の衝撃を受けました。



倒壊したビルの下敷きになった家

そのような中を私は金沢から片道5時間かけて自家用車を運転して2日間通いましたが、県外からの他のメンバーは寝袋、餅つきの石臼や鍋、やかん、コンロなどの用具、食材、自分たちの4日間の食糧をすべて車につんで、とにかく現地では水だけ提供していただいて、1日4ウス、2日で8ウスのお餅をつき、避難しておられる方々に配りました。行列してお餅を受け取っていただいたお年寄りの御婦人方から、「今年初めてお餅を食べた、おいしかった」と喜んでいただき、疲れも吹っ飛び、生かされている喜びを実感しました。



餅つきを行う筆者

わたしたちの今後残されている人生は楽しいことばかりでなく、どのような困難に出会うかわかりませんが、日野原重明先生提唱の新老人として、日々心豊かに、後悔せずにやりきりたいと願っています。

第3回会員の集い&昼食懇話会開催のお知らせ

日 時：2024年11月2日(土) 12:00~14:00
演 題：～家族が語る日野原重明先生～「晩年の義父と過ごして」
講 師：日野原真紀氏
場 所：金沢ニューグランドホテル
会 費：3,500円(昼食代を含む)



※同封の返信用ハガキに必要事項を記入し、10月21日(月)までに投函してください。

季節の花見会の開催

高木正二

今年度の新規事業である「季節の花見会」が、7月8日(月)、11:30から大乘寺丘陵公園で、会員14名の参加により開催されました。

黒い雲が空を覆い、花見ができるか不安を感じさせる天候でしたが、参加者の日頃の行いの良さにより(?)最後まで雨が降らず無事に花見を終えることができました。

車に乗り合わせて公園に到着した参加者は、まず、見晴らしハウス(休憩所)で昼食を摂りました。皆さん、ゆっくりとお弁当を食べながら会話にふけていました。

食事後、約200m離れた「あじさい園」で紫陽花を鑑賞しました。

「あじさい園」には43種、6,400本の花が植えられており、参加者は思い思いに満開の紫陽花を楽しんでいました。



紫陽花を鑑賞した後、車で上部駐車場に移動し、日野原重明先生百歳記念樹と「新老人の会」石川支部設立五周年記念樹の様子を確認しました。

参加者から「設置後10年以上が経過したため、腐食し折れた標柱を建て替えてはどうか」との意見があり、事務局で検討することになりました。



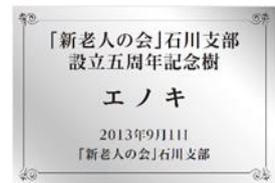
日野原重明先生百歳記念樹の下で記念撮影

参加者から、「大乘寺丘陵公園は初めて来たが、良い公園だ」、「桜の咲く頃やツツジの咲く頃にまた来たい」との意見があり、花見会を開催して良かったと思います。

「日野原重明先生百歳記念樹」等樹名札の設置

7月8日の季節の花見会で参加者から建て替え要望があった日野原重明先生百歳記念樹等の標柱については、事務局で検討の結果、コストと耐久性を考慮し、従来の木製の標柱ではなくアルミ及び強化樹脂製の樹名札を設置することになりました。

樹名札はアルミ製で、サイズは210mm×150mm、ステンレス製支柱で立てるもので、地上高70cm程度です。



9月11日(水)、10:00から山内世話人代表及び記念樹の管理をしてこられた数澤氏夫妻、事務局員参加のもと約1時間で樹名札を設置すると共に下枝を伐採しました。



第16回会員余技作品展の開催

高木正二

第16回会員余技作品が8月27日(火)～9月1日(日)の日程で、石川国際交流サロンで開催されました。

期 日：2024年8月27日(火)13:00～9月1日(日)15:00

開館時間：10:00～18:00

場 所：石川国際交流サロン

展示種目：写 真、絵手紙、俳 句、俳 画、洋 画
パステルアート、パンフラワー、陶 芸、
木目込み、松ぼっくりアート、折り紙

出展者数：18名

出展数：56点

来場者数：110名



展示作品を鑑賞する来場者

会員の高齢化や減少が進む中、今回は昨年とほぼ同数の18名、56点の出展があり、来場者数は昨年来年を若干下回る110名となりました。

今回は、女流画家協会の会員で、サークル「絵手紙」の講師を務めていただいている久保恵美子さんが洋画「ザクロ」を特別出展して下さい、作品展に華を添えていただきました。



洋画「ザクロ」

また、88歳の会員が今年度から絵手紙に挑戦し、今回の作品展にも出展を果たしました。

さらに、新しいジャンルとして「松ぼっくりアート」に取り組んだ会員もあり、会員それぞれが日野原先生の教えである「創めること」に積極的に取り組んでいることを本当に心強く思っています。来年も会員余技作品展を充実した内容で開催したいと思います。皆さん来年に向けて創作準備をお願いします。

作品展示例



写真・俳画



俳句



絵手紙



写真・松ぼっくりアート



陶芸・木目込み・パンフラワー・折り紙

サークル活動紹介

落語（映画）鑑賞会

今年度発足した「落語（映画）鑑賞会」の第1回例会が8月2日(金)、13:30から金沢市松ヶ枝福祉館で開催されました。

会員5名が参加し、50インチのテレビでDVDによる落語を視聴しました。



落語を鑑賞する参加者

≪視聴演目≫

【桂 文珍】

①「心中恋電腦」、②「はてなの茶碗」

【古今亭志ん朝】

③「文七元結」

創作落語の面白さと、本格派の古典の両方を楽しむことができました。

「落語（映画）鑑賞会」は、毎月第1又は第2金曜日、金沢市松ヶ枝福祉館で開催します。

落語好きな方、興味がある方はご参加下さい。

世話人：高木正二

連絡先：090-4684-0605

カラオケを楽しむ会

今年度発足した「カラオケを楽しむ会」の第1回例会が8月20日(火)、13:30からラウンドワンスタジアム金沢店で開催されました。

会員5名が参加し、最新の機器でそれぞれの十八番を熱唱しました。



熱唱する参加者

中には自分が歌いたい歌を20曲ほどメモしてきた用意周到な参加者や初めての曲に果敢に挑戦する参加者もあり、思い思いの方法でカラオケを楽しんでいました。

「カラオケを楽しむ会」は、毎月第3火曜日、ラウンドワンスタジアム金沢店（金沢市横川6-120-1）で開催します。

カラオケ好きな方、歌ってみたい方はご参加下さい。

世話人：高木正二

連絡先：090-4684-0605

川柳

(順序不同)

大島 恒治

CTをくぐれば出るのは鬼か蛇か
八十路きて訳知り顔の訳しらす

高木 要子

教習所高齢者は大事なお客様
愛犬に朝の散歩を誘導され
一年前の菓子パンきれいな食べますか？

中谷 茂次

世界一長寿の秘訣は脳と足
おねだりは小学生で止めるべき
(兵庫県知事へ)

止めてくれ昔ベトナム今はガザ

福岡 恒忠

筋トレの仕上げ脳トレ爺帰る

キャンパスに彼の女をひと観る絵画展

高木 正二

米不足でも減反は止めません

異常気象今は毎年発生し

日々の俳句 花明り

(順序不同)

鈴木雅夫

台風や消えて又来る何処かな
風音の気になり二百十日かな

宮下美智子

日に耐へて役目を果たす簾とる
鴟鳴くや昔家老の屋敷跡

福岡恒忠

犬連れて言葉交わせり赤まんま
敬老の饅頭片手に稚児の声

新道 和子

秋水を硯にうけて写経をす
福耳にマスクの紐をかけにけり

大島恒治

禁断のダムのリんごは赤かりし
青年のリんごをかじる音たしか

新川光子

黒瓦屋根は残暑の日を反し
残暑過ぎゆたかに実る無花果や

北山 八重子

神の技ここに極めて夏五輪

はめ字 作品

はめ字の面白さは、作る人のアイデア次第で全く違う文章が出来るところです。風情や哀愁といった日本語の面白さを感じながら創作にチャレンジして見ませんか。多数のご応募をお待ちしています。

締め切りは11月20日 鈴木雅夫まで

次回作品募集

		し		
		の		
る	れ	ぼ	の	し
		れ		
		る		

の	恋	ひ	過	わ
哀	し	と	去	れ
れ	ぼ	め	と	ひ
か	う	ぼ	現	と
な	却	れ	在	り

新川 光子

欺	思	ひ	ネ	骨
さ	い	と	ッ	董
れ	ぼ	め	と	ひ
ま	う	ぼ	検	ん
す	走	れ	索	を

高木 正二

し	う	ひ	入	あ
吾	ぬ	と	社	の
れ	ぼ	め	と	ひ
ん	れ	ぼ	共	と
慕	強	れ	に	に

飯田 世三

に	子	ひ	ペ	縁
戯	犬	と	ッ	に
れ	ぼ	め	と	ひ
る	一	ぼ	店	か
姿	ル	れ	で	れ

高木 要子

ほ	こ	ひ	そ	い
ま	の	と	い	い
れ	ぼ	め	と	ひ
で	く	ぼ	げ	と
す	の	れ	た	と

大島 恒治

わ	笑	ひ	ポ	若
す	く	と	ッ	い
れ	ぼ	め	と	ひ
難	心	ぼ	咲	な
し	に	れ	く	た

福岡 恒忠

強	一	ひ	胸	あ
破	人	と	部	の
れ	ぼ	め	と	ひ
ん	っ	ぼ	肢	と
恥	ち	れ	体	の

飯田 世三

腹	ご	ひ	粘	稲
膨	飯	と	り	の
れ	ぼ	め	と	ひ
ま	う	ぼ	旨	ん
す	食	れ	味	種

高木 正二

奪	惚	ひ	心	わ
わ	れ	と	酔	れ
れ	ぼ	め	と	ひ
る	れ	ぼ	き	と
人	心	れ	の	言

新川 光子

愛	生	ひ	あ	お
さ	涯	と	の	も
れ	ぼ	め	と	ひ
た	け	ぼ	き	出
い	ず	れ	も	す

福岡 恒忠

は	こ	ひ	そ	そ
な	の	と	そ	の
れ	ぼ	め	と	ひ
ぬ	く	ぼ	し	と
ぞ	は	れ	て	み

大島 恒治

る	な	ひ	は	若
忘	ん	と	っ	き
れ	ぼ	め	と	ひ
た	も	ぼ	驚	に
わ	あ	れ	く	は

飯田 世三

編集後記

今年は灼熱の猛暑に耐える日々でした。こうした中、「会員の集い」ではハーモニカアンサンブルの演奏で懐かしいメロディーを聴き、心がうきうきしました。このような日常のなにげない事柄に楽しさや嬉しさを感じていけたらと思っております。会員の皆様も、日々の暮らしの中で感動したこと等を投稿してみませんか。他人と共有することで、より感動が深まるのではないのでしょうか。投稿をお待ちしております。(新川光子記)

次号の発行は2025年1月1日、原稿締切日は2024年11月20日です。字数は原則800字程度でお願いします。送付先：高木正二 〒920-3114 金沢市吉原町ヨ 190 番地 E-mail sytakagi@sea.plala.or.jp 編集責任者：世話人代表 山内ミハル 編集委員：鈴木雅夫、新川光子、福岡恒忠、高木正二 印刷：「新老人の会」石川 事務局